



糖尿病網膜症



だな たけし
産業医 田名 毅 (首里城下町クリニック)

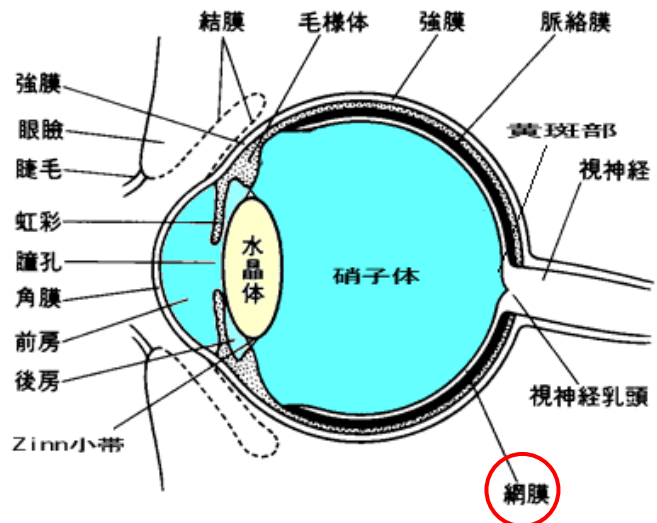
11月の地域向け医療講演会は「糖尿病網膜症」というタイトルで中部眼科の松村哲先生にご講演頂きました。先月の糖尿病講演会シリーズ第1弾に引き続き、今回は糖尿病合併症の一つである糖尿病網膜症を取り上げました。講演の要旨をご紹介します。

(1)糖尿病網膜症とはどのような病気か？

眼の中には表面にある角膜、レンズの働きをする水晶体球体をしたゼリー状の透明な硝子体、そして一番奥に**眼の栄養をとりしきっている血管が走っている網膜**があります。

この細い血管は、糖尿病による高い血糖にさらされると5年ぐらいの年月をかけて徐々に血管が閉塞(つまること)を起こします。それを身体は修復しようとして、新生血管というものをつくりますが、これが硝子体の中を浮くような状態になり、網膜症は徐々に悪化していきます。

つまり、糖尿病網膜症とは眼の血管の病気であり、新生血管が悪さをする病気と考えられます。



(2)糖尿病網膜症の進み方と蛍光眼底造影検査の重要性

糖尿病の患者さんの**網膜症の段階**は以下の4つのステージに分かれます。

1. 異常なし
2. 単純網膜症
3. 前増殖網膜症 …この段階までは視力が維持されるので気付かない
4. 増殖網膜症 …急に視力が低下する

単純網膜症の軽い所見では点状・しみ状出血が確認され、ステージ 3 の前増殖網膜症になると、軟性白斑というものができます。蛍光眼底造影(血管に黄色い液を注射する検査)をすることで、血管が閉塞してできた無血管野をみる事ができます。

ステージ 4 の増殖網膜症になると、新生血管ができて、硝子体出血を起こしたり、けん引性網膜剥離を起こします。このようにステージ 3 の段階までは全く視力に問題がないことがあるので、5 年以上の糖尿病歴がある方、いつから糖尿病になったかわからない方は、眼底検査に加え、蛍光眼底造影を行って、網膜症になっていないかチェックすることが重要と言えます。



蛍光眼底造影検査

糖尿病網膜症や加齢黄斑変性症の診断には欠かせない検査です。血液の流れの状態や、通常の眼底検査では発見できない病変の状態を詳しく調べることができます。

(3)「糖尿病網膜症の治療」

有効な薬剤はまだありませんが、前増殖網膜症に気付いたら光凝固療法(レーザー治療)を受けることが重要です。これにより新生血管が出てくることを防ぎます。それでも新生血管ができてきたり、網膜はく離など起こすときは硝子体手術が必要になります。この治療により7割は改善しますが、1割の患者さんは視力低下が進み介助なしでは生活ができなくなることが知られています。 ※若い糖尿病患者さんほど、病気の進行が速いので注意が必要だそうです。

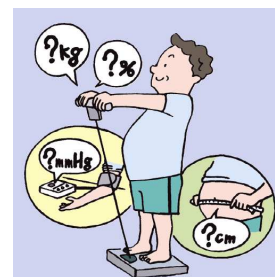
(4)眼科医からみた、網膜症の治療の注意点

治療における最悪のパターンとは？

- 1、眼科ではじめて糖尿病を指摘される症例(糖尿病であることすら気付いていない)
- 2、眼科で放置される症例(網膜はみているが、蛍光眼底造影をしていないので、前増殖網膜症になっていても気付かない…)
- 3、内科で放置される症例(内科で糖尿病の治療はしているが、内科の医師が眼科でもみてもらうことを勧めないために、網膜症の発見が遅れる症例)

(5)まとめ

- 1、糖尿病の患者さんは眼底検査を受けよう
- 2、定期的なチェックを(3カ月、半年、1年 ごとなのか、主治医に確認)
- 3、視力が低下してからでは遅い
- 4、適切な時期にレーザー治療を受ける(前増殖網膜症を見逃してはいけい)
- 5、レーザー治療で治るとは限らない。視力低下は避けられない。
- 6、なるべく硝子体手術を受けないよう早めに眼科の定期チェックを受ける
- 7、血糖をよくしないとすべて無駄になってしまう(食事・運動・くすり)



(6)その他

透析患者さんの網膜症は不思議と良くなるようです。透析になるまでは眼の治療は大変ですが、一旦透析がはじまると網膜症は安定するといえます。

※これは透析開始してから、眼底出血を起こしたという症例が当院でもみられないことから、納得できる話です。



お知らせ



第107回 首里城下町クリニック『地域むけ医療講演会』

日時: 1月31日(火)19:00~ ※12月の地域向け医療講演会はお休みです

テーマ: 高尿酸と腎臓病 (仮テーマ)

産業医が講演します!

講師: 医)麻の会 首里城下町クリニック第一院長 田名 毅

どなたでもお聞きになれます。

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、

あなたの **相談窓口** です!

相談窓口

産業医は、あなたの職場と職場で働く方々の心とからだの健康を支援します。

★産業医・保健師による事業所訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では保健師による健康相談を行っています。どなたでもどうぞ! 事業所訪問などで不在の事もありますので、お電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。

事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお話ください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



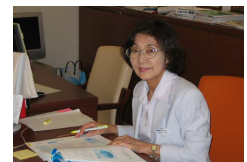
産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅



保健師・産業カウンセラー
認定産業看護師 田名彩子



保健師
又吉雅代



認定産業看護師
山城愛子

連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 070-5814-0065 (田名彩子)

メール saiko@biscuit.ocn.ne.jp

プライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい!